

2021年8月13日

各位

会社名 シェアリングテクノロジー株式会社  
 代表者名 代表取締役 CEO 森吉 寛裕  
 (コード: 3989 東証マザーズ)  
 問合せ先 管理部長 矢野 悟  
 (TEL. 052-414-6025)

## 投資有価証券評価損の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

シェアリングテクノロジー株式会社（以下：シェアテック）は、2021年9月期において投資有価証券評価損を計上するとともに、2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期の通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 投資有価証券評価損の内容

シェアテックはゲームの開発・運営等を行う株式会社ビジュアライズに出資しておりましたが、将来の収益性に鑑み回収可能性を検討した結果、投資有価証券評価損70百万円を計上いたしました。なお、上記損失はIFRSの規定により営業損失として計上されるため、営業利益以下全ての利益に影響します。

#### 2. 業績予想の修正

2021年9月期通期連結業績予想数値

(2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益(円)
前回発表予想 (A)	4,400- 4,800	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	3,400	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	△1,000- △1,400	—	—	—	—	—
増減率 (%)	△22.7- △29.2	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	3,987	364	329	△1,156	△1,181	△61.76

### 3. 修正の理由

『暮らしのお困りごと』事業は、カギジャンルへの新型コロナウイルス感染症の影響が前第3四半期から大きく出始めたことから、当第3四半期は一定程度の回復を見込んでおりましたが、回復の目処が立っていないこと（昨対比52%）に加え、当第1四半期の日本列島への台風未上陸等の天候要因による関連ジャンルへの影響（昨対比63%）等を踏まえ、2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期の通期の連結業績予想を、売上収益3,400百万円に修正いたします。また、営業損益は、競合環境の悪化によるオンライン広告の単価が高騰し、広告宣伝費率の悪化が継続することを見込んでおり、第3四半期までの実績（上記投資有価証券評価損の影響を含む）及び第4四半期の事業収益（第4四半期に経常的に発生する売上収益や売上原価、販管費等の予想数値）の予想を加味すると200百万円程度の営業損失を見込んでおりますが、資産の評価結果等により現状見込んでいない費用が発生する可能性があるため、未定とさせていただきます。

### 4. 今後の見通し

上記の投資有価証券評価損は、本日公表の2021年9月期第3四半期の連結業績に反映しております。未定としております営業損益以下の業績予想については、開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

以 上